

IP多機能電話機

IX-12IPKTD-E

取扱説明書

この取扱説明書は、お読みになった後も大切に
保管してください。



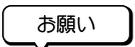
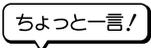
IWATSU

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、お買い求めの販売店でお買い直してください。

本文中のマークの説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 Note	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ちょっと一言！	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門にお申しつけください。

危険

■ 本電話機専用のACアダプタを使用してください。指定以外のACアダプタをご使用になった場合、故障、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

■ PoE (LAN 給電) でご使用になる場合、HUB、およびLAN ケーブルの仕様が IEEE802.3af に準拠している商品をお選びください。規格に合わない装置と接続すると、故障、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。

警告

■ 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。電話機の場合は直ちにACアダプタおよび電話機コード(LANケーブル)を外し、ACアダプタの場合は必ずアダプタ本体をコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してからお買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門に至急ご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 万一、電話機を落としたり、電話機を破損した場合、本電話機の場合は AC アダプタおよび電話機コード (LAN ケーブル) を外し、AC アダプタの場合は必ずアダプタ本体をコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください。

● 電子機器が誤動作したりするなど影響が出る可能性があります。また、使用を制限された場所での使用はお控えください。(ご注意いただきたい電子機器の例：補聴器、医療用電子機器など)

■ 本商品の開口部やすきまから内部に金属類や燃えやすいもの等の異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、電話機の場合は直ちにACアダプタおよび電話機コード (LANケーブル) を外し、お買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

 **警告**

- 電話機を電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。破裂、発火等の原因になります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 電話機、ACアダプタのそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電話機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。
- ACアダプタは、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ACアダプタコードおよび電話機コード(LANケーブル)を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、束ねたりしないでください。また重いものを載せたり、加熱したりするとACアダプタコードが破損し、火災、感電の原因となることがあります。ACアダプタコードが傷んだら、お買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門にご連絡ください。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプタは、埃が付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、ACアダプタをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。埃により火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプタは、必ずIX-12IPKTD-E専用のもの(型番: IX-IPKTAC-E)を使用し、それ以外のは絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。

警告

■ 電話機を分解・改造しないでください。火災、感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理はお買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門にご依頼ください。また改造は法律で禁止されています。(分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります)

■ 電話機をねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、強く押しついたりして、圧迫しないでください。破損して、火災、やけど、けがの原因となることがあります。

注意

■ 電話機およびACアダプタのご使用にあたっては、次のことにご注意ください。

- 直射日光の当たるところ、自動車の中、暖房設備・ボイラーの側など著しく温度が高くなる場所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災、故障の原因となることがあります。
- 調理台のそばなどの油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所には置かないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 振動・衝撃の多い場所、ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、電話機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 長時間で使用にならないときは、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 電話機およびACアダプタおよびACアダプタコードを熱器具に近づけないでください。本体やコードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプタをコンセントから抜くときは、必ずアダプタ本体を持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電、断線の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、ACアダプタをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災、感電の原因となることがあります。
- 雷が激しいときはACアダプタコードなどに触れないでください。感電の原因になります。

お願い

他の機器への影響について

- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 電話機、ファクシミリなどに近いと通話に雑音が入ったりすることがあります。

お願い

使用場所について

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。電話機が正常に動作しないことがあります。
- 冷蔵倉庫などで電話機の使用温度範囲内であっても、出入りすることにより内部が結露して電話機が正常に動作しないことがあります。
 - 正常に動作しなくなったときは、ACアダプタおよび電話機コード（LANケーブル）を外し、十分に時間がたってから電源を入れるようにしてください。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けます）。
 - 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、使用できないことがあります。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、電話機などの寿命が短くなる可能性があります。

国外への持ち出しについて

- 本電話機は日本国内でのご利用を前提としたものです。国外へ持ち出されてもご利用できません。

防水機能について

- 本電話機は、防水対応ではありませんので以下のような使用はできません。
 - 浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
 - 水道水などの流水に直接当てないでください。
 - 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
 - めれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。
 - 受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。

お手入れについて

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。電話機等の変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

Note



セキュリティについて

- 本商品は暗号化などのセキュリティ機能はありません。ルータなどのセキュリティ機能をお使いください。

音声の品質について

- 本商品はVoIP(Voice over IP)技術を使っているため、他の多機能電話機とは異なります。通話中に音声の途切れ、ノイズ、エコーなどがあっても故障ではありません。
 - 携帯電話機インターフェース(IX-6CO/2CP)での通話をご遠慮ください。
 - 次の場合、エコーやノイズ、通話の途切れが気になる事があります。
 - ・ ネットワークのデータトラフィックが増大した場合。
 - ・ インターネット経由の場合。
 - ※契約しているプロバイダなどの環境にも影響されます。
 - ・ ADSL回線をお使いの場合。
 - ※回線を提供しているキャリアにご相談ください。
 - 最悪の場合は、通話が切れる事もあります。
 - ・ 他の多機能電話機やコードレス電話機を音声で呼出し、内線ハンズフリー応答機能が働く場合。
 - ・ ドアホン通話の場合。
 - ・ 会議通話の場合。
 - ・ ボイスメール装置で通話録音を行う場合。
 - ・ アナログ系の外線や専用線をお使いの場合。
 - ・ 通話中の相手の方が保留した場合の保留音。
 - お話が終わって切るときや、外線ボタンを押し替えたときに、異音が瞬間的に出る場合があります。
 - アナログ回線をハンズフリーで発信操作する場合のダイヤルトーンが途切れる事があります。
 - ※マイクOFF、またはミュートボタンを押してお使いください。

着信音について

- 電話機が複数台同時に着信するとき、着信音が揃って鳴らない事があります。

この取扱説明書の見かた

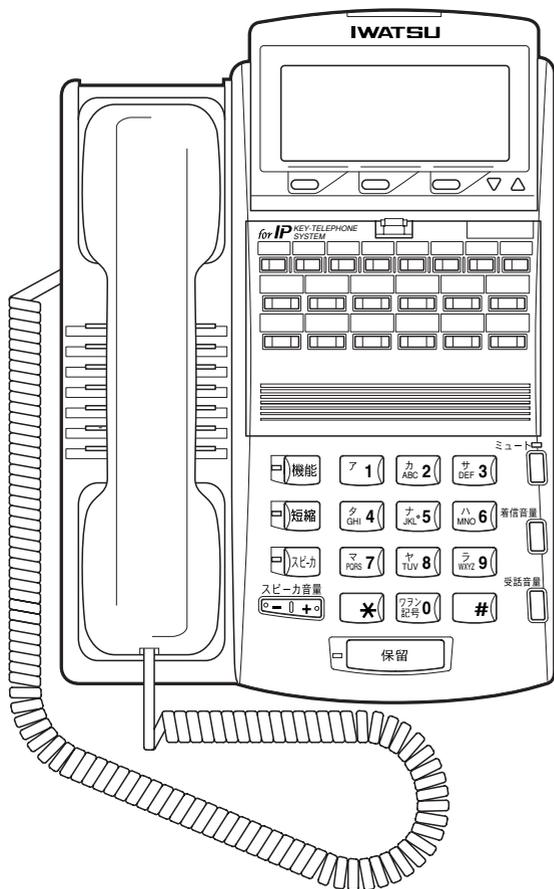
- この取扱説明書は、主装置の内線電話機としてご利用になれる機能を説明しています。主装置の「取扱説明書」と合わせてお読みください。
- 液晶ディスプレイ表示の字体や表示位置など、この取扱説明書と商品と異なる部分があります。

目次

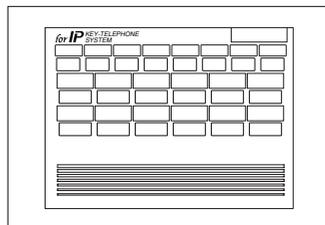
安全にお使いいただくために必ずお読みください	1
この取扱説明書の見かた	7
1 セットの内容	10
2 各部の名前とはたらき	11
前面部	11
背面(コネクタ)部	12
ディスプレイ部	13
ボタン(ランプ)表示	14
3 お使いになる前に	15
外線ラベルをセットする	15
ペディストルの角度を調整する	15
ACアダプタを接続する	16
LANケーブルを接続する(ネットワーク機器/パソコン)	17
4 基本的な使い方	18
外に電話をかけるとき<外線発信>	18
外からの電話を受けるとき<外線着信>	19
内部の人を呼び出すとき<内線発信>	20
内部から呼び出しを受けるとき<内線着信>	21
通話を他の人に回すとき<転送>	22
3人または4人で同時に通話するとき<会議通話>	23
短縮ダイヤルを登録するとき<短縮登録>	24
5 文字を入力する	26
文字入力のしかた	26
6 電話帳ダイヤルでかける	29
電話帳ダイヤルに登録する	29
電話帳ダイヤルでかける	32
電話帳ダイヤルを修正する	35
電話帳ダイヤルを削除する	37
電話帳グループの名前を設定する	39
発信記録や着信記録の電話番号を登録する	40
WWWブラウザから電話帳を使うには	41
7 前に電話をかけた相手に再びかける(発信記録)	43
かけた相手に再びかける	43
発信記録を削除する	44
8 電話をかけてきた相手にこちらからかける(着信記録)	46
かけてきた相手にこちらからかける	46
着信記録を削除する	48

9	いろいろな設定をするには	50
	システムデータ設定メニューに入る手順	50
	ユーザー名/パスワード変更	51
10	受話音量を調節する	52
11	スピーカ音量を調節する	53
12	着信音量を調節する	54
13	オプションをご利用になるには	55
14	ディスプレイ部に次のメッセージが表示されたら	56
15	故障かな?と思ったら	57
16	こんな音がしたら	59
17	主な仕様	60
18	アフターサービスについて	61

1 セットの内容



本体



外線ラベル(無地)

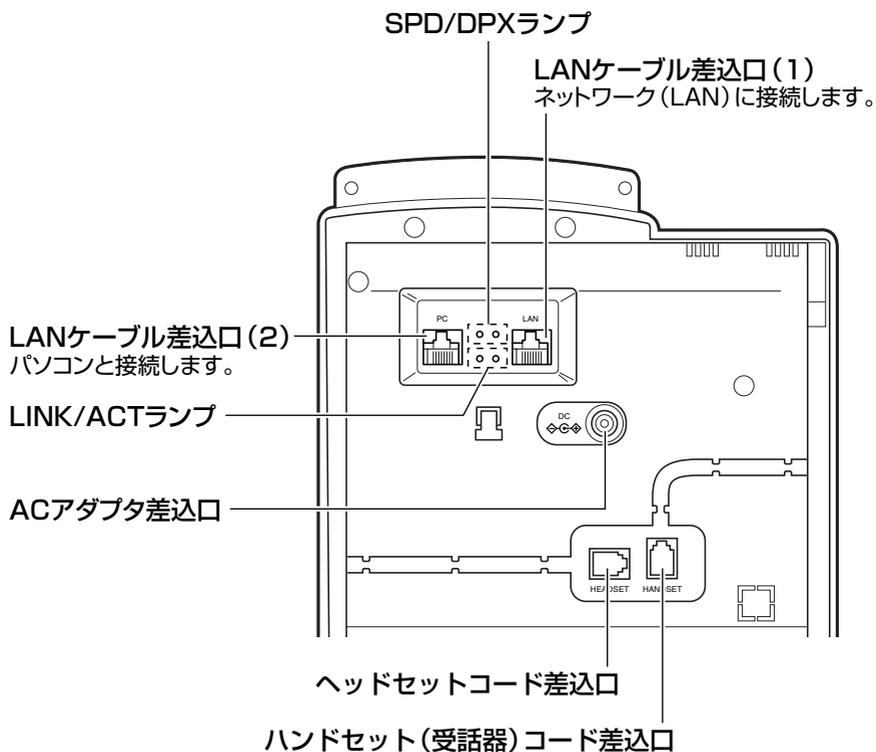
- 取扱説明書

ACアダプタ(別売)

Note

- ACアダプタは、必ずIX-12IPKTD-E専用のもの(型番: IX-IPKTAC-E)をお使いください。

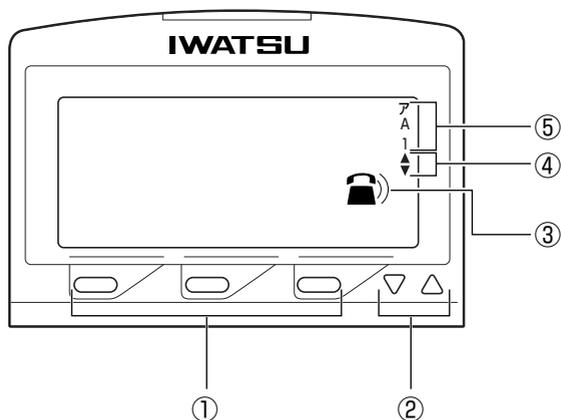
背面(コネクタ)部



Note

- LANケーブル差込口(1)はPoE(LAN給電)に対応しています。
- ヘッドセットコード差込口はご利用できません。
- ヘッドセットをお使いいただく場合は、お買い求めになった販売店へお問い合わせください。

ディスプレイ部



名前とはたらき

① ソフトキー	メニュー機能や電話帳ダイヤルの登録などに使います。
② スクロールボタン	電話帳ダイヤルを検索するときや、メニューの選択に使います。
③ 未応答着信マーク	電話番号が通知されている電話がかかってきた場合に、電話に出られなかったときに表示されます。 このマークは着信記録を表示する操作を行うと消えます。＜着信記録＞…(→46ページ)
④ スクロールマーク	表示中の項目をスクロールボタンでスクロールできるとき表示されます。
⑤ カナ英マーク	電話帳ダイヤルなど、文字を入力するときのモードを表示します。

- ディスプレイに表示される文字は、この操作マニュアルでの字体とは異なります。

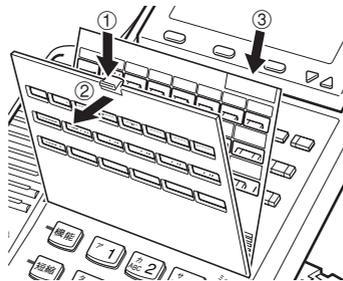
ボタン(ランプ)表示

	ランプの種類	ランプのつき方	電話機の状態
表側	外線ボタン (ランプ)	点灯中に2回消える (緑)	自分の電話機で通話中
		点灯 (赤)	他の内線電話機が自分以外の相手と通話中
		点滅 (赤)	電話がかかってきた
		遅い点滅 (赤)	他の内線電話機が保留中
		遅い点滅 (緑)	自分の電話機で保留中
	内線ボタン (ランプ)	点滅 (赤)	内線で呼び出されている
		点灯中に2回消える (緑)	自分の電話機で内線通話中
		遅い点滅 (赤)	自分の電話機で内線を保留中
	機能ボタン (ランプ)	点滅 (赤)	機能ボタンを使った操作をしている
	スピーカボタン (ランプ)	点滅 (赤)	スピーカを使用している
ミュートランプ	点滅 (赤)	こちらの音声は通話相手に送らない	
大型着信ランプ /ボイスメール メッセージランプ	点滅 (赤)	電話がかかってきた	
	点灯 (緑)	ボイスメールメッセージがある	
裏側	LINK/ACT ランプ	消灯	リンクが確立していない
		点灯 (緑)	リンクが確立している
		点滅 (緑)	パケットを送受信中
	SPD/DPX ランプ	消灯	10Mbps、Half Duplexで通信中 またはリンクが確立していない
		点灯 (赤)	100Mbps、Half Duplexで通信中
		点灯 (緑)	10Mbps、Full Duplexで通信中
		点灯 (橙)	100Mbps、Full Duplexで通信中

3 お使いになる前に

外線ラベルをセットする

図のように、①外線ラベルのカバーのフック(上部中央)を押さえて②開き、③外線ラベルをセットして、カバーを元に戻します。

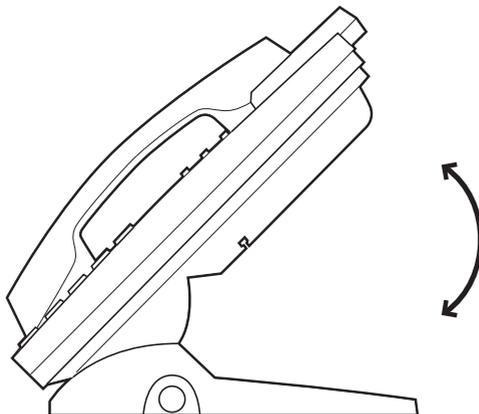


ペディストルの角度を調整する

- 1 本機を平らで安定した台の上に置き、「PUSH LOCK」タブを引き出します。



- 2 ペディストルから本体を引き起こし、設置する角度に調整します(7段階の角度に調整できます)。このとき、一度ペディストルから完全に本体を引き起こし、必要に応じて角度を調整してください。



3 「PUSH LOCK」タブを押し込みます。

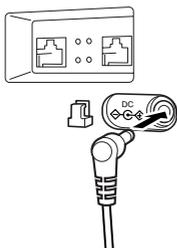


Note

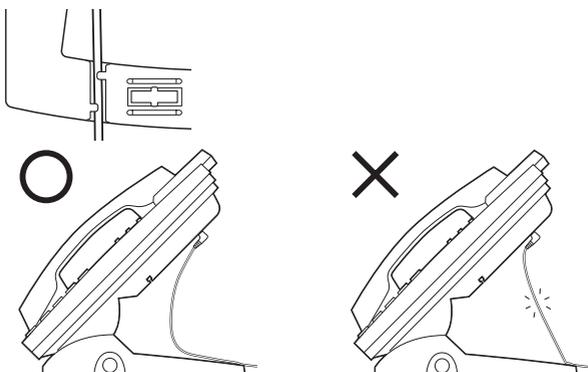
- 角度を調整したあとは、最後まで正しく「PUSH LOCK」タブを押し込んでください。このとき、押し込みきれない場合は、再度、角度を調整し直してから、「PUSH LOCK」タブを押し込んでください。

ACアダプタを接続する

1 ACアダプタのプラグを差し込みます。



2 必要に応じてペディストルにケーブルを固定します。



ケーブルをペディストルに留める際には、ケーブルが引っ張られることがないように、長さにゆとりを持たせて固定してください。

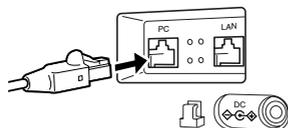
Note

- ペディストルの角度を調整するときは、必ずペディストルからケーブルを外してください。ペディストルにケーブルを固定したまま角度を調整すると、ケーブルが外れたり、コネクタ等が破損することがあります。
- ACアダプタは別売です。必ずIX-12IPKTD-E専用のもの(型番：IX-IPKTAC-E)をお使いください。
- ACアダプタを接続してからご使用できるようになるまで約30秒かかります。故障ではありません。

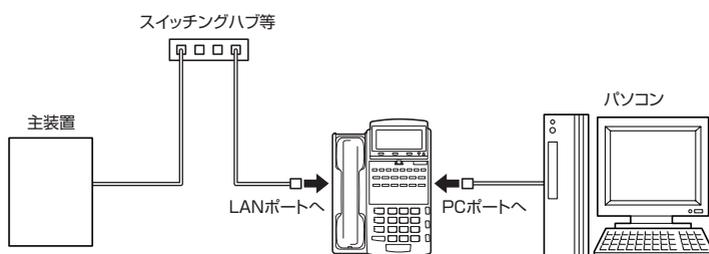
LANケーブルを接続する(ネットワーク機器/パソコン)

1 LANケーブルを差し込みます。カチッと音がするまで、しっかりと差し込んでください。

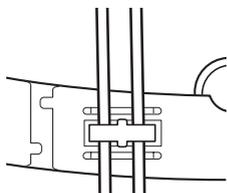
- LANポート：ネットワーク(LAN)に接続します。
- PCポート：パソコンと接続します。



接続イメージ図



2 必要に応じて、ペディストルにケーブルを固定します。



Note

- ペディストルの角度を調整するときは、必ずペディストルからケーブルを外してください。ペディストルにケーブルを固定したまま角度を調整すると、ケーブルが外れたり、コネクタ等が破損することがあります。
- ケーブルはお客様のネットワーク環境に適した、カテゴリ5 UTPケーブル(100BASE-TX対応品)をご使用ください。
- PCポートに接続できるパソコンは1台です。ハブを使用して複数のパソコンを接続すると、通話がとぎれたりノイズが発生したりすることがあります。また、データ伝送量の多いパソコンやサーバ機器はPCポートに接続しないでください。接続しても十分な性能を発揮できないことがあります。

4 基本的な使い方

外へ電話をかけるとき <外線発信>

外へ電話をかけるとき <一般発信>

- 1 空いている外線ボタンを押し、次に受話器を取り上げます。(または  を押します)
 - ・緑色の外線ランプが点滅します。
 - ・ツーという発信音を確認してください。
- 2 電話番号をダイヤルし、通話します。

短縮ダイヤルをかけるとき <短縮ダイヤル>

- 1 空いている外線ボタンを押し、次に受話器を取り上げます。(または  を押します)
 - ・緑色の外線ランプが点滅します。
 - ・ツーという発信音を確認してください。
 - 2 、短縮ダイヤルの順にダイヤルし、通話します。
- 短縮ダイヤルの登録方法は、「短縮ダイヤルを登録するとき」を参照してください。
<短縮ダイヤルを登録するとき>…(→24ページ)

最後の相手にかけ直すとき <ラストナンバリダイヤル>

- 1 空いている外線ボタンを押し、次に受話器を取り上げます。(または  を押します。)
 - ・緑色の外線ランプが点滅します。
 - ・ツーという発信音を確認してください。
 - 2 [再発信]ボタン(または  +  + )を押し、通話します。
- [再発信]ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。

応答しない相手に何度もかけ直すとき <オートリポートダイヤル>

- 1 呼出中または相手が通話中の状態で、[リポート]ボタンを押します。
 - 2 受話器を置きます。
 - ・自動的に設定回数分繰り返しかけ直されます。
- [リポート]ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。
 - オートリポートダイヤルの解除は、、[リポート]ボタン、の順に押します。

外からの電話を受けるとき <外線着信>

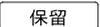
外からの電話を受けるとき <外線着信>

- 1 着信している外線ボタンを押します。
 - ・赤色の点滅が緑色に変わります。
- 2 受話器を取り上げ、通話します。
 - 主装置で局線着信鳴音指定が設定されている電話機で、着信の時に相手のダイヤルが通知されている場合、そのダイヤルが電話帳に登録されていると、電話帳に登録された名前がディスプレイの3行目に表示されます。
 - NTT(日本電信電話)のネーム・ディスプレイサービスを契約されていて、主装置で局線着信鳴音指定が設定されている電話機で、相手の方から発信者名が通知されている場合は相手の方の名称がディスプレイの3行目に表示されます。ただし、電話帳にそのダイヤルが登録されている場合は、電話帳に登録された名前が表示されます。
 - ディスプレイに表示された相手の方の名前は、通話を開始すると消えます。表示が消えた後で相手の方の名前を確認したい場合は、着信記録(46ページ)を参照してください。相手の方の名前がディスプレイに表示されます。

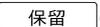
受話器を置いたまま外線と通話するとき

- 1 [マイク]ボタン(または+ )を押します。
- 2 を押し、通話します。
 - [マイク]ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。もう一度[マイク]ボタンを押すと、内蔵マイクがOFFとなります。

お待ちいただくとき <外線保留>

- 1 通話状態で を押します。
 - 再び通話するときには、保留中の外線ボタンを押して受話器を取り上げ、通話します。

保留した外線を他の人が受けないようにするとき <外線自己保留>

- 1 通話状態で  の順に押します。
 - 再び通話するときには、保留中の外線ボタンを押して受話器を取り上げ、通話します。

内部の人を呼び出すとき <内線発信>

音で呼び出すとき <内線トーン呼び出し>

- 1 受話器を取り上げます。(または \square を押します。)
 - ・ツツツツツという内線発信音を確認してください。
- 2 相手の内線番号をダイヤルします。
- 3 通話します。

声で呼び出すとき <内線音声呼び出し>

- 1 受話器を取り上げます。(または \square を押します。)
 - ・ツツツツツという内線発信音を確認してください。
- 2 相手先の内線番号、 \square の順にダイヤルし、受話器で「○○さん」のように呼びかけます。
- 3 通話します。

呼び出したい部署の空いている電話機を呼び出すとき <内線代表呼び出し>

- 1 受話器を取り上げます。(または \square を押します。)
 - ・ツツツツツという内線発信音を確認してください。
- 2 相手先の内線グループの代表番号をダイヤルします。
- 3 通話します。

内部から呼び出しを受けるとき <内線着信>

受話器を取り上げて応答するとき <内線自動応答>

- 1 トゥルトゥルトゥルという呼出音が鳴ったら、受話器を取り上げます。
- 2 通話します。

音声による内線呼び出しに、受話器を上げずに応答するとき <内線ハンズフリー応答>

- 1 「〇〇さん」という呼出音声聞こえたら、[マイク]ボタン(または  +  (7 1))を押します。
 - 2 通話します。
- [マイク]ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。もう一度[マイク]ボタンを押すと、内蔵マイクがOFFとなります。

お待ちいただくとき <内線保留>

- 1 通話状態で  を押します。
 - ・内線保留状態になります。
- 2 再び通話するときは、保留中の内線ボタンを押し、受話器を取り上げます。
- 3 通話します。

通話を他の人に回すとき <転送>

近くの人に声をかけて回すとき <保留転送>

- 1 通話状態で を押します。
- 2 「〇〇さん××番に電話です」のように呼びかけます。
- 3 呼ばれた方は該当する外線ボタンを押し、通話します。

特定の内線番号に回すとき <外線自動転送>

- 1 通話状態で[転送]ボタンを押し、転送先の内線番号をダイヤルします。
- 2 つながったら、「〇〇さん××番に電話です」のように呼びかけて、受話器を戻します。
- 3 呼ばれた方は通話します。

- [転送] ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。
- 転送できない場合は、[転送] ボタンを再び押せば保留した外線に応答できます。

不在中にかかってきた電話を指定した電話機に自動転送するとき <不在転送>

- 1 内線に接続します。
 - 2 [不在転送] ボタンを押し、転送先の内線番号をダイヤルします。
 - ・プップップという確認音を確認してください。
 - ・転送元のディスプレイに不在転送であることが表示されます。
- [不在転送] ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。
 - 転送の設定を取り消す場合は内線接続し、[不在転送] ボタン、 を押してください。

通話中の内線を他の電話機に強制的に転送するとき <内線キャンプオン>

- 1 通話状態で[転送]ボタン(または) を押し、転送先の内線番号をダイヤルし、受話器を戻します。
 - ・強制的に転送されます。
 - 2 転送された方は、通話します。
- この機能はオンフックキャンプオンを設定した電話機で利用できます。
 - [転送] ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。

3人または4人で同時に通話するとき <会議通話>

外線または内線と通話中に会議通話をするとき <外線会議通話><内線会議通話>

- 1 通話状態で[転送]ボタンを押し、参加させたい内線番号をダイヤルします。
- 2 相手先が応答したら「会議通話に参加してください」のように呼びかけます。
- 3 [会議]ボタンを押し、3人で通話します。
※4人で通話する場合は、それぞれ同じ操作を繰り返します。

●[転送]ボタンおよび[会議]ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。

通話中の他の電話機に割り込み会議通話するとき <バージ・イン>

- 1 通話中の該当する外線ボタンを押します。(または内線番号をダイヤルします。)
- 2 受話器を取り上げ、[会議]ボタンを押します。
- 3 3人で通話します。
※4人で通話する場合は、それぞれ同じ操作を繰り返します。

●[会議]ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。

●バージ・インはデータ設定により登録が必要です。

外線と通話中に他の外線を呼び出して会議通話するとき <複数外線会議通話>

- 1 通話状態で 、空いている外線ボタンの順に押します。
- 2 相手先の電話番号をダイヤルし、応答したら「会議通話に参加してください」のように呼びかけます。
- 3 [会議]ボタン、保留してある外線ボタンの順に押し、3人で通話します。
※4人で通話する場合は、それぞれ同じ操作を繰り返します。

●[会議]ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。

短縮ダイヤルを登録するとき <短縮登録>

相手の電話番号の登録方法

- 1 受話器を置いた状態で  を押します。
- 2  を押し、登録する短縮番号(90～99)、相手の電話番号(32桁以内)の順にダイヤルします。
- 3  を押します。
 - 相手の電話番号が短縮ダイヤルに登録されます。
 - 連続して登録する場合は、手順2の操作を繰り返します。

外線グループ番号(発信できる外線番号)を登録するとき

- 1 受話器を置いた状態で  を押します。
- 2   を押し、登録する短縮番号(90～99)、外線グループ番号の順にダイヤルします。
- 3  を押します。
 - 外線グループ番号が短縮ダイヤルに登録されます。
 - 連続して登録する場合は、手順2の操作を繰り返します。

相手先名の登録方法

- 1 受話器を置いた状態で  を押します。
- 2   を押し、登録する短縮番号(90～99)をダイヤルした後、相手先名(10桁以内)を入力します。
 - 文字の入力方法については、「短縮ダイヤルの文字の入力方法」をご覧ください。
- 3  を押します。
 - 相手先名が短縮ダイヤルに登録されます。
 - 連続して登録する場合は、手順2の操作を繰り返します。

短縮ダイヤルの文字の入力方法

短縮ダイヤルの文字の入力は次のように行います。

- 1  でカタカナ入力モード、英数字入力モードを選択します。
 - 最初は英数字入力モードになっています。 を押すごとに切り替わります。

2 ダイアルボタンで文字を選択します。

- ダイアルボタン(ア1)～(ワ0)を押すごとに、対応する表示文字が変わります。

【例】(カABC 2)を押すと、

英数字モードのときは A→B→C→2

カタカナモードのときは カ→キ→ク→ケ→コ→2

※詳しくは「短縮ダイヤルの文字対応表」をご覧ください。

3 保留で確定します。

- 自動的に次の入力待ちになります。

- 再度(保留)を押すと、一つ前の文字が取り消されます。
- 受話器の上げ下げで登録を中止できます。(そのとき入力した文字はすべて取り消されます。)

短縮ダイヤルの文字対応表

ダイヤルボタンを押すごとに、次の表のように表示される文字が変わります。

ア 1 (カABC 2) (サDEF 3)

タGHI 4 (ナJKL 5) (ハMNO 6)

マPQRS 7 (ヤTUV 8) (ラWXYZ 9)

(ワフワン記号 0) (＊) (#) ダイアルボタン

ダイヤルボタン	表示文字(およびモード)	
	英数字入力モード	カタカナ入力モード
ア 1	1	ア→イ→ウ→エ→オ→1
カABC 2	A→B→C→2	カ→キ→ク→ケ→コ→2
サDEF 3	D→E→F→3	サ→シ→ス→セ→ソ→3
タGHI 4	G→H→I→4	タ→チ→ツ→テ→ト→4
ナJKL 5	J→K→L→5	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ→5
ハMNO 6	M→N→O→6	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ→6
マPQRS 7	P→Q→R→S→7	マ→ミ→ム→メ→モ→7
ヤTUV 8	T→U→V→8	ヤ→ユ→ヨ→8
ラWXYZ 9	W→X→Y→Z→9	ラ→リ→ル→レ→ロ→9
ワフワン記号 0	→→→ (スペース=空白)→&→0	ワ→ヲ→ン→°→`→→→0
＊	→カタカナモードに切り替え	→英数字モードに切り替え
#	大文字/小文字の切り替え	大文字/小文字(アイウエオツヤユヨ)の切り替え

5 文字を入力する

文字入力のしかた

電話帳ダイヤルの登録などで文字を入力します。電話帳ダイヤルの登録方法は「電話帳ダイヤルに登録する」を参照してください。

<電話帳ダイヤルに登録する>…(→29ページ)

文字入力時には、「漢字」「ひらがな」「カタカナ」「英字」「数字」「絵文字」「記号」を入力することができます。を押して入力モードを選択し、ダイヤルボタンで希望する文字を表示させて入力します。

1 を押して入力モードを選択します。

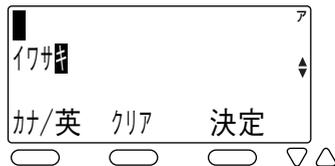
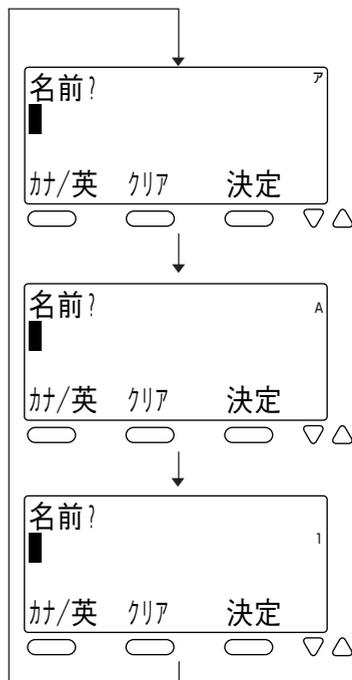
- カタカナモード
漢字、ひらがな及びカタカナを入力することができます。
- 英字モード
英字、絵文字及び記号を入力することができます。
- 数字モード
数字を入力することができます。

2 文字を入力します。

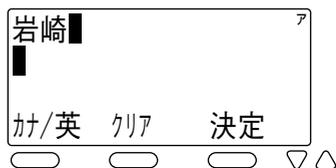
カタカナモードの場合

【例】「岩崎」と入力する場合

1. を2回、を1回、を1回、を2回押します。
 - カタカナを入力したい場合は  を押します。
2.  または  で文字を変換します。
 - 漢字→全角カタカナ→半角カタカナ→全角ひらがなの順に変換されます。
 - 残り候補数が右端に表示されます。
 - 入力したい文字に変換できない場合は、 または  で変換対象を漢字1文字分にしたたり、濁点や半濁点をはずしたり、読み方を変えて(音読み/訓読み)入力し直してください。



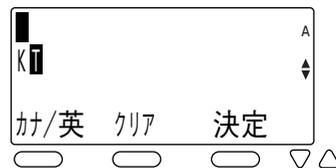
3. 入力したい文字が表示されたら^{決定}を押します。
- 確定された文字が上段に移動します。



英字モードの場合

【例】「KT」と入力する場合

1. ⁵を2回、⁸を1回押します。



2. ^{決定}を押します。

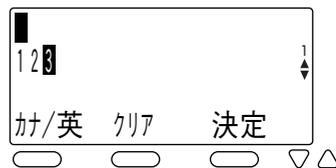
- 確定された文字が上段に移動します。



数字モードの場合

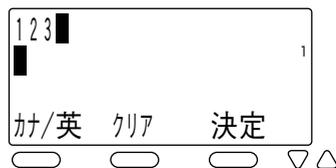
【例】「123」と入力する場合

1. ¹²³の順に押します。



2. ^{決定}を押します。

- 確定された文字が上段に移動します。



ちょっと一言!

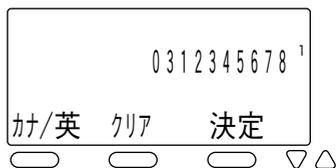
- 文字入力は文字が割り当てられているボタンを、入力したい文字が表示されるまで押してください。
入力したい文字が表示されたら、別のボタンを押すか[#]を押してください。
続けて同じボタン上の文字を入力するときは、[#]を押してカーソルを移動させてください。
- 文字入力を間違えたときは、^{リセット}を押してください。カーソルの位置の1文字が削除され、後ろの文字が詰められます。また、^{リセット}を1秒以上押し続けることで全文字削除することができます。
- 入力文字を修正したいときは、^{*}または[#]を押してカーソルを修正したい桁まで移動し、再度入力してください。
- 文字入力はカーソル位置への挿入となります。ただし、入力桁数を越えた場合は最後尾から削除されます。
- 30秒間何も操作が行われなかった場合、文字入力はキャンセルされます。

- 文字を入力するときのカタカナ／英字／数字の各モードでの入力キーは以下の通りです。

ボタン	カタカナモード	英字モード	数字モード
	アイウエオアイウエオ		1
	カキクケコ	ABCabc	2
	サシスセソ	DEFdef	3
	タチツテトツ	GHIghi	4
	ナニヌネノ	JKLjkl	5
	ハヒフヘホ	MNOmno	6
	マミムメモ	PQRSpqrs	7
	ヤユヨヤユヨ	TUVtuv	8
	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
	ワヲン ° ° ° ー ! ? (空白)	@ . / : ~ _ - · & [] # * (空白)	0
	カーソルを左に		
	カーソルを右に		
	英字モードにシフト	数字モードにシフト	カタカナモードにシフト
	1文字削除		
	全文字削除		

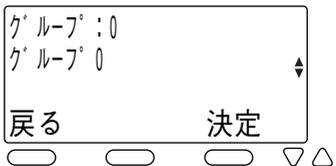
6 登録する相手の電話番号を入力します。

- 入力されたダイヤルが右下から順に表示されます。



7 を押します。

- グループ選択画面が表示されます。

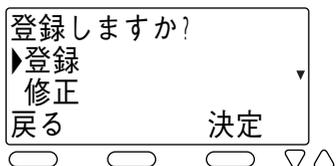


8 ▽または△でグループを選択します。

- ～を押すことでグループの選択を行うこともできます。

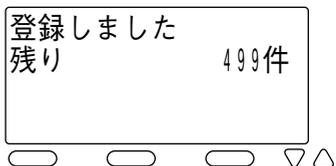
9 を押します。

- 登録確認画面が表示されます。



10 ▽または△で項目を選択し、を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、手順 2 に戻ります。
- 「修正」を選択した場合は、登録は行わず手順 3 に戻ります。



Note



- PBXなどの交換機に接続した外線に発信するときは、電話番号の前に外線発信番号とポーズの入力が必要となる場合があります。

ちょっと一言!

- 読み仮名には、「カタカナ」「英字」「数字」「絵文字」「記号」が入力できます。
- 電話番号の入力を間違えたときは、を押して下さい。最後の桁から1桁ずつ削除されます。また、を1秒以上押し続けることで全桁削除することができます。
- 電話番号にはポーズも登録することができます。
 1. ポーズの登録は、に続けてポーズ時間を秒単位の数字1桁(1~9)で入力します。ただし、ダイヤルの先頭にポーズは登録できません。
 2. 複数のポーズを続けて登録することができます。
 3. ポーズは1つでダイヤル2桁分に数えます。
- 電話番号にはダイヤルリバーズも登録することができます。回転ダイヤル式回線でダイヤルリバーズを使用すると、その後のダイヤルがプッシュ信号で出ます。
 1. ダイヤルリバーズは、 で入力します。
 2. 再度ダイヤルリバーズを登録すると回転ダイヤル信号に戻ります。
 3. ダイヤルリバーズ機能は、回線が回転ダイヤル式のときのみ使用できます。
- 登録操作を中止するときは、を押します。
- 電話帳には読み仮名または電話番号のどちらかが設定されていなければ登録できません。
- 電話帳グループにはグループ名を登録することができます。
<電話帳グループの名前を設定する>…(→39ページ)
- すでに500件登録されている状態で電話帳ダイヤル登録操作を行ったときは、ピピピピピという警告音が鳴り「登録できません 残り 0件」が表示されます。
- 手順1~2の代わりに、受話器を置いた状態でを1秒以上押ししても、名前入力画面になります。

電話帳ダイヤルでかける

電話帳には500件の電話番号が登録できます。50音順、読み仮名または電話帳グループのいずれかで、登録された電話番号を検索した後、電話をかけることができます。

1 電話帳から発信する電話番号を検索します。

50音順検索の場合

1. 受話器を置いた状態で、を押します。



2. 目的の電話帳ダイヤルが見つかるまで、▽または△を押します。

●検索順序は次の通りです。

- ①読み仮名なし
- ②絵文字(     )
- ③空白(スペース)
- ④記号(!、#、&、*、-、.、/、:、@、_、~)
- ⑤数字(0~9)
- ⑥英字(?、A~Z、[,]、a~z)
- ⑦カタカナ(・、ヲ、ア〜ツ、ア〜ン、ゝ、°)



ちよつと言!

- 電話帳ダイヤル検索中に、~を押すことでア行~ワ行で始まる読み仮名を検索表示します。

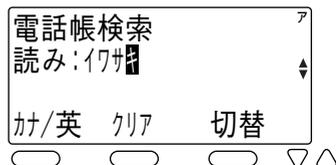
読み仮名検索の場合

1. 受話器を置いた状態で、を押します。



2. 検索したい読み仮名を入力します。

- を押して入力モードを選択してください。
- 入力できる読み仮名は6文字までです。



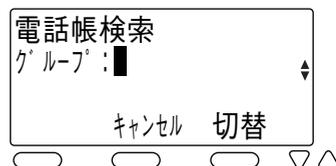
3. またはを押します。



電話帳グループ検索の場合

1. 受話器を置いた状態で、を押し、次にを押します。

- もう一度を押すと最初にを押す前の状態に戻ります。



2. 目的のグループが見つかるまで、またはを押します。

- ～を押すことでグループの選択を行うこともできます。



3. を押します。



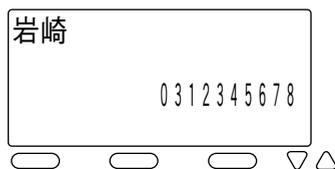
4. またはを押します。

- 選択したグループ内の電話帳ダイヤルが表示されます。

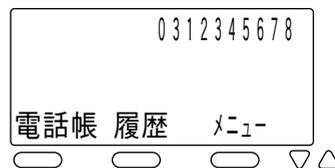


2 受話器を取り上げます。

- 検索した電話番号がダイヤルされます。



3 しばらくすると相手呼び出している音が聞こえます。



4 相手が応答すれば、通話ができます。

Note



- 電話帳ダイヤルに1件も登録していないときは、を押しても操作は無視されません。

ちょっと一言!

- どの検索方法の場合でも、検索中に▽または△を1秒以上押し続けると、押している間はディスプレイの表示がスクロールします。
- 局線に電話をかけるときは、手順2で最初に局線ボタンを押して局線を捕捉する必要があります。
- 読み仮名の入力を間違えたときは、を押してください。カーソルの位置の1文字が削除され、後ろの文字が詰められます。また、を1秒以上押し続けることで全桁削除することができます。
- 読み仮名検索の場合で、入力した読み仮名の登録が無い場合は、その近くのデータを表示します。
- 電話帳グループ検索の場合、登録が1件もないグループは表示されません。
- 受話器を取り上げた後で電話帳ダイヤルを表示させ、を押し、▽または△を押して発信を選んで^{決定}を押すと、ダイヤルすることができます。



電話帳ダイヤルを修正する

50音順、読み仮名または電話帳グループのいずれかで、登録された電話番号を検索した後、電話帳ダイヤルを修正することができます。

- 1 変更したいデータを電話帳検索を行って、ディスプレイに表示します。

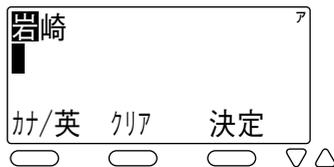


- 2 ^{メニュー}を押します。



- 3 ▽または△を押して「修正」を選択し、^{決定}を押します。

・名前修正画面が表示されます。



- 4 名前を修正し^{決定}を押します。

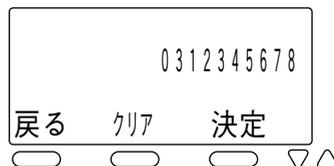
【例】「岩崎」を「岩通」に修正する場合

・文字の修正方法は「文字を入力する」を参照してください。

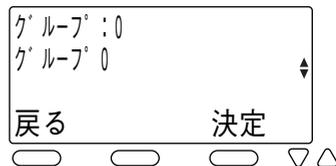
<文字を入力する> …(→26ページ)



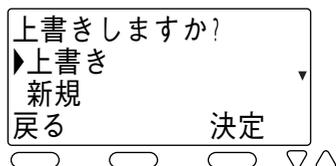
- 5 読み仮名を修正し^{決定}を押します。



6 電話番号を修正し^{決定}を押します。



7 グループを選択し^{決定}を押します。



8 ▽または△を押して「上書き／新規／修正」を選択します。

- 「上書き」を選択した場合は、元の電話帳データの上書きとなります。
- 「新規」を選択した場合は、元の電話帳データは修正せずに新規の登録になります。
- 「修正」を選択した場合は、登録は行わず手順4に戻ります。

9 ^{メニュー}を押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴ります。



ちよつと言!

- 「新規」を選択した場合で、すでに500件登録されている場合は、ピピピピピという警告音が鳴り「登録できません 残り 0件」が表示されて、約2秒後に「上書きしますか?」の表示に戻ります。

電話帳ダイヤルを削除する

50音順、読み仮名または電話帳グループのいずれかで、登録された電話番号を検索した後、電話帳ダイヤルを削除することができます。また、電話帳ダイヤルの全データを消去することもできます。

登録されたデータの削除

1 削除したいデータを電話帳検索を行ってディスプレイに表示します。



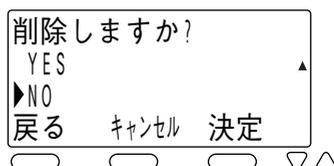
2 ^{メニュー}を押します。



3 ▽または△を押して「削除」を選択します。



4 ^{決定}を押します。



5 ▽または△を押して「YES/NO」を選択します。

6 ^{決定}を押します。

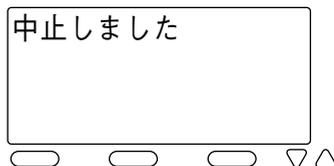
• 「YES」を選択した場合は、ピピという確認音が鳴り内容が削除されます。

削除した場合



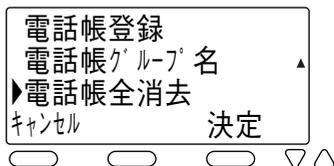
• 「NO」を選択した場合は、データの削除は中止されます。

中止した場合

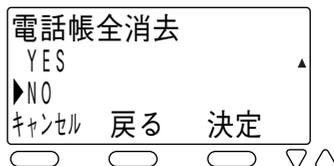


登録された全データの消去

1 ^{メニュー} を押してメニュー画面を表示させ、▽または△を押して「電話帳全消去」を選択します。



2 ^{決定} を押します。

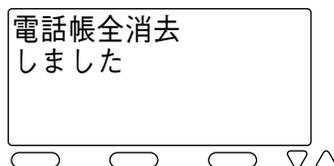


3 ▽または△を押して「YES/NO」を選択します。

4 ^{メニュー} を押します。

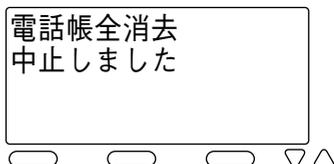
- 「YES」を選択した場合は、「電話帳消去中」表示となり、しばらくしたらピピという確認音が鳴り、電話帳ダイヤルの全データが消去されます。

消去した場合



- 「NO」を選択した場合は、電話帳全消去は中止されます。

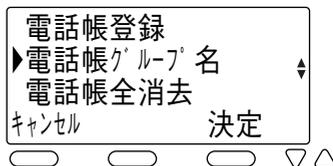
中止した場合



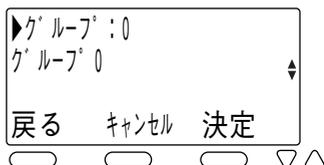
電話帳グループの名前を設定する

電話帳グループに名前を設定することができます。

- 1 を押してメニュー画面を表示させ、▽または△を押して「電話帳グループ名」を選択します。

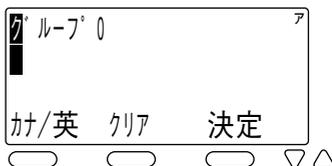


- 2 を押します。



- 3 ▽または△を押してグループを選択します。

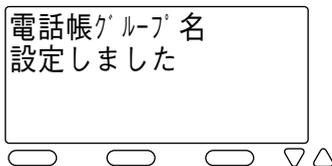
- 4 を押します。



- 5 グループ名を修正し を押します。
 - 文字の修正方法は「文字を入力する」を参照してください。
 - <文字を入力する> …(→26ページ)



- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴ります。



発信記録や着信記録の電話番号を登録する

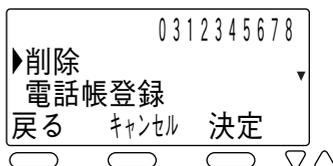
発信記録や着信記録の電話番号を電話帳ダイヤルに登録することができます。

1 登録したい発信記録または着信記録のデータをディスプレイに表示します。

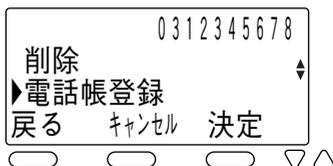
- ・<発信記録>…(→43ページ)
- ・<着信記録>…(→46ページ)



2 ^{メニュー}を押します。



3 ▽または△を押して「電話帳登録」を選択します。

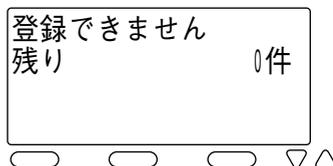


4 ^{決定}を押します。

- ・名前入力画面が表示されます。
- ・以降の操作は電話帳ダイヤルへの登録と同じです。
- ・<電話帳ダイヤルに登録する>…(→29ページ)



- ・すでに500件登録されている場合にはピピピピという警告音が鳴り、登録することはできません。



ちょっと一言!

- 電話番号が通知されている電話がかかってきた場合に、その電話番号が電話帳ダイヤルに登録されているときは、登録されている名前がディスプレイの3行目に表示されます。



WWWブラウザから電話帳を使うには

wwwブラウザから電話帳のいろいろな機能を使えます。
使える機能は次のとおりです。

- 電話帳の登録
- 電話帳の削除
- 電話帳の修正
- 電話帳の発信
- 電話帳のバックアップ/リストア

WWWブラウザの設定

Windows 2000でMicrosoft Internet Explorer 6.0を使う場合を例として、WWWブラウザの設定を説明します。

準備

- 1 デスクトップ上に表示されているWWWブラウザのアイコンを、右クリックします。
- 2 メニューの中から、「プロパティ」を選択します。
- 3 「接続」タブをクリックします。
- 4 「LANの設定」を選択します。
- 5 「詳細設定」を選択します。
- 6 「例外」に本製品のIPアドレスを追加します。
- 7 「OK」をクリックします。

起動

本商品のIPアドレスが、192.168.1.10の場合を例として説明します。

- 1 お使いのパソコンでwwwブラウザを起動します。
- 2 アドレス入力欄に、「http://192.168.1.10」と入力し、「Enter」キーを押します。
 - 認証ページが表示されます。

認証

- 1 認証ページで「ユーザ名」に「user」と入力し、「認証」をクリックします。
- 2 「電話帳機能」をクリックします。
 - 電話帳のページが開きます。

電話帳ダイヤルでかける

- 1 「電話帳機能トップメニュー」画面から電話帳検索を選んでクリックします。
- 2 「検索種別」を選びクリックします。
- 3 「検索条件」を選んで「検索」をクリックすると、結果が表示されます。
- 4 「スピーカ」をクリックします。
- 5 ダイヤルしたい番号を選び、「発信」をクリックします。
 - 選んだ電話番号へダイヤルされます。

Note



- WWWブラウザは、Windows2000、XPの各OSにおいて、Internet Explorer6.0をご使用ください。
- 電話帳の名前や読みに使用するアイコンをお使いの場合、Windowsの外字登録が必要になります。別途提供の外字ファイルをあらかじめ組み込んでお使いください。詳しくは、お買い求めになった販売店へお問い合わせください。
- WWWブラウザから電話帳の名前や読みに半角カタカナの入力はできません。
- ユーザー名、パスワードは変更できます。
<ユーザー名/パスワード変更>…(→51ページ)
- 本機のIPアドレスをご確認いただくときは、お客様のネットワーク管理担当の方へお問い合わせください。

7 前に電話をかけた相手に再びかける (発信記録)

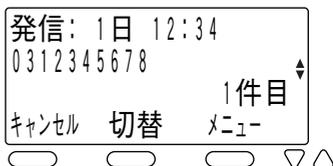
かけた相手に再びかける

こちらからかけた電話番号の最後の20件を記録し、その電話番号に電話をかけることができます。

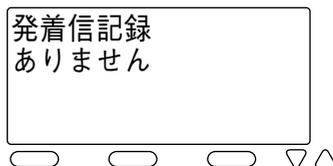
電話番号は1件につき24桁まで記録できます。

1 受話器を置いた状態で、を押します。

- 発信記録が1件も記録されていない場合は、発信記録の表示となります。
<着信記録>…(→ 46ページ)

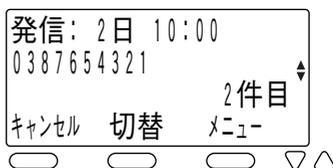


- 発信記録と着信記録が1件も記録されていない場合は、ディスプレイに「発着信記録 ありません」と表示されます。



2 ▽または△を押してかけたい相手を選択します。

- 発信記録の最大20件分が連続して表示されます。



3 受話器を取り上げます。

- 表示されている電話番号がダイヤルされます。



ちよつと言!

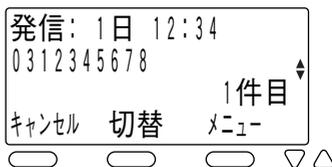
- 局線に電話をかけるときは、手順3で最初に局線ボタンを押して局線を捕捉する必要があります。
- かけた電話番号が電話帳に登録されている場合は名前が表示されます。
- 発信記録を表示中にを押すと着信記録の表示に変わります。
- 受話器を取り上げた後で発信記録を表示させ、を押し、▽または△ボタンで発信を選んでを押すことで表示されている電話番号をダイヤルすることができます。

発信記録を削除する

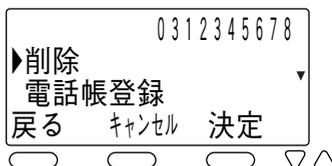
発信記録を検索した後に削除することができます。また、発信記録の全データを削除することもできます。

記録されたデータの削除

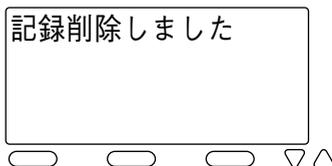
- 1 削除したい発信記録をディスプレイに表示します。



- 2 **メニュー**を押します。
 - 「削除」が選択されていることを確認します。

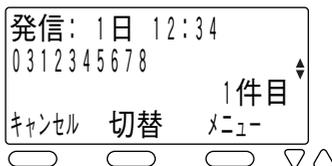


- 3 **決定**を押します。
 - 削除が完了するとピピという確認音が鳴ります。

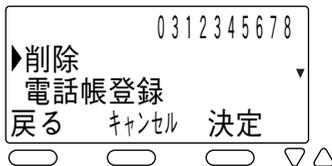


記録された全データの削除

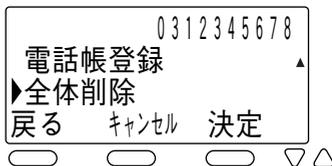
- 1 発信記録をディスプレイに表示します。



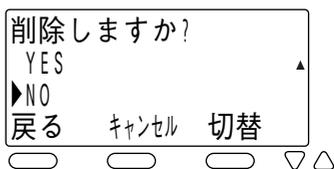
- 2 **メニュー**を押します。



- 3 ▽または△で「全体削除」を選択します。



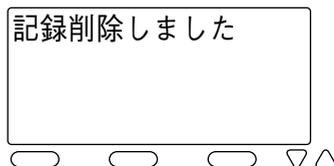
4 を押します。



5 ▽または△を押して「YES／NO」を選択します。

6 を押します。

- 「YES」を選択した場合は、ピピという確認音が鳴り、発信記録の全データが削除されます。
- 「NO」を選択した場合は、データの削除は中止されます。



8 電話をかけてきた相手にこちらからかける (着信記録)

かけてきた相手にこちらからかける

電話がかかってきたときに、電話番号が通知されている場合は、その電話番号を記録します。

記録件数は最新の20件です。

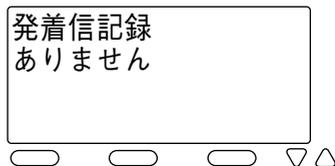
電話番号は1件につき24桁まで記録できます。

1 受話器を置いた状態で、履歴を押します。

- 発信記録が記録されている場合は、発信記録の表示となります。

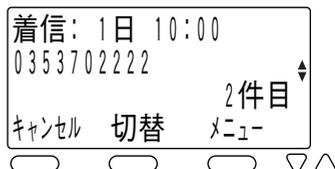
この場合は、切替を押してください。

- 発信記録と着信記録が1件も記録されていない場合は、ディスプレイに「発着信記録 ありません」と表示されます。



2 ▽または△でかけたい相手を選択します。

- 着信記録の最大20件分が連続して表示されます。



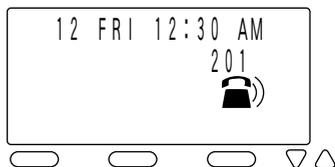
3 受話器を取り上げます。

- 表示されている電話番号がダイヤルされます。



ちよつと言!

- 電話番号が通知されている電話がかかってきた場合に、電話に出られなかったときは、受話器を置いた状態でマークが表示されます。
- マークは着信記録を表示する操作を行うと消えます。
- 電話に出られなかった着信の着信記録の表示には、時刻の右側に「*」が表示されます。



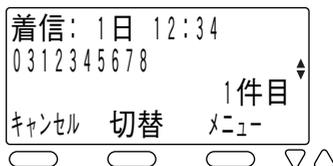
- 通知された電話番号が電話帳に登録されている場合は電話帳に登録されている名前が表示されます。
- NTT(日本電信電話)のネーム・ディスプレイサービスを契約されていて、相手の方から発信者名が通知されていた場合は相手の方の名称が表示されます。ただし、相手の方の電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。
- 着信記録を表示中に^{切替}を押すと発信記録の表示に変わります。
- 受話器を取り上げた状態で着信記録を表示させ、を押し、▽または△ボタンで発信を選んで^{決定}を押すことで表示されている電話番号をダイヤルすることができます。

着信記録を削除する

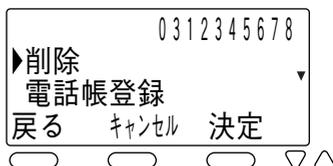
着信記録を検索した後に削除することができます。また、着信記録の全データを削除することもできます。

記録されたデータの削除

- 1 削除したい着信記録をディスプレイに表示します。



- 2  を押します。
・「削除」が選択されていることを確認します。

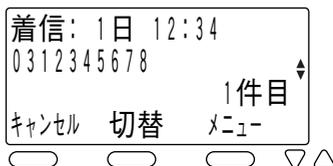


- 3  を押します。
・削除が完了するとピピという確認音が鳴ります。

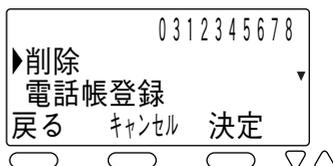


記録された全データの削除

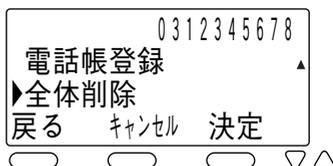
- 1 着信記録をディスプレイに表示します。



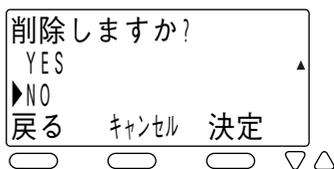
- 2  を押します。



- 3 ▽または△を押して「全体削除」を選択します。



4 を押します。



5 ▽または△を押して「YES／NO」を選択します。

6 を押します。

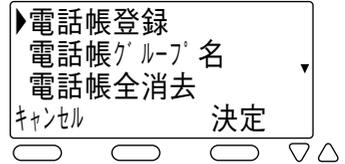
- 「YES」を選択した場合は、ピピという確認音が鳴り、着信記録の全データが削除されます。
- 「NO」を選択した場合は、データの削除は中止されます。



9 いろいろな設定をするには

システムデータ設定メニューに入る手順

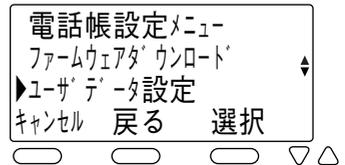
- 1 受話器に置いた状態で  を押します。



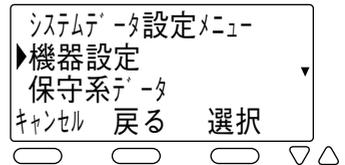
- 2 ▽または△を押して「電話機設定メニュー」を選択し、 を押します。
・電話機設定メニューが表示されます。



- 3 ▽または△を押して「ユーザーデータ設定」を選択します。



- 4  を押します。
システムデータ設定メニューが表示されます。



Note

- 30秒間何も操作が行われなかった場合、設定操作はキャンセルされます。
- ユーザー名とパスワードによって操作ができる項目が変わります。

ユーザ名／パスワード変更

設定操作やWWWブラウザから電話帳操作するときのユーザ名とパスワードを変更できます。

- 1 システムデータ設定メニューで▽または△を押して「機器設定」を選択し、を押します。
- 2 ▽または△を押して「ログイン設定」を選択し、を押します。
- 3 「ユーザ」と表示されます。を押します。
- 4 新しいユーザ名を入力し、を押します。
 - ・「文字を入力する」を参照してください。
<文字を入力する>…(→ 26ページ)
- 5 新しいパスワードを入力し、を押します。
 - ・「文字を入力する」を参照してください。
<文字を入力する>…(→ 26ページ)
 - ・英数字のみです。
 - ・登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴ります。

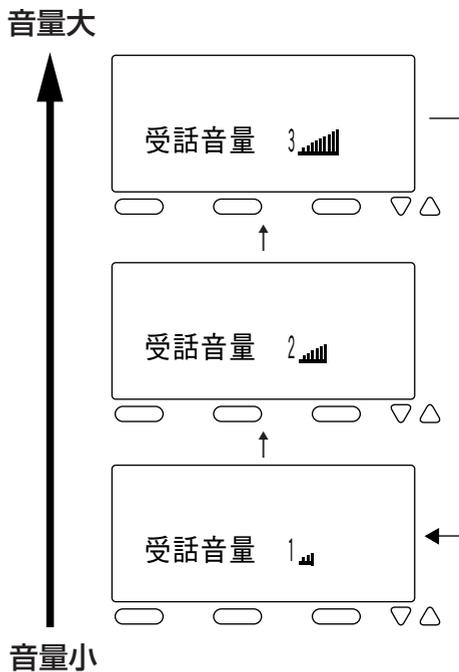
Note

- ユーザ名は英、数字で20文字まで入力できます。
- パスワードは英、数字で20文字まで入力できます。

10 受話音量を調節する

通話をしている間に受話器の受話音量を3段階に調節できます。

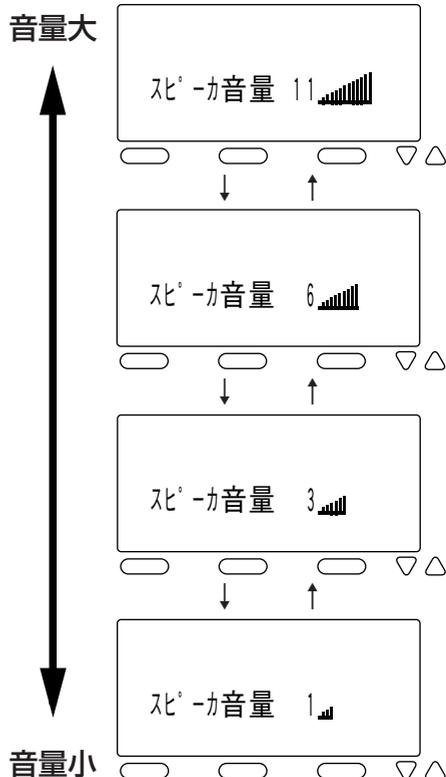
- 1 通話中に  を押します。
- 2  を押すごとに、小→中→大→小…に受話音量が変わります。
- 3 お好みの音量に調節した後、約3秒で元の表示に戻ります。



11 スピーカ音量を調節する

スピーカ使用中に相手の声の大きさを調節できます。

- 1 スピーカ使用中に、 を押します。
- 2  を押すと↓の方向で、 を押すと↑の方向で順番にスピーカ音量が変わります。
- 3 お好みの音量に調節した後、約3秒で元の表示に戻ります。



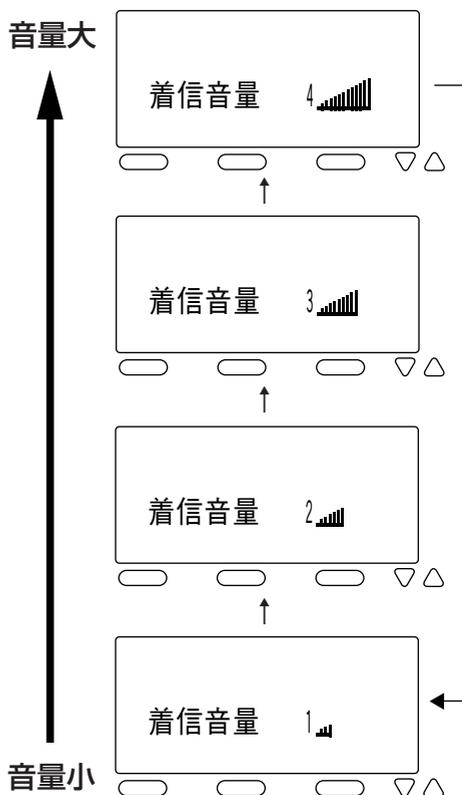
12 着信音量を調節する

電話がかかってきたときに鳴る着信音の大きさを4段階に調節できます。

1 受話器を置いた状態で  を **音量大** 押します。

2  を押すごとに、小→中→大→特大→小…に着信音の音量が変わります。

3 お好みの音量に調節した後、約3秒で元の表示に戻ります。



Note

●着信音量1(最小)は、微かに聞こえる程度の音量になります。

13 オプションをご利用になるには

より便利にお使いいただくために、いろいろなオプションが用意されています。オプションをご利用になるときは、お買い求めになった販売店へお問い合わせください。また、ご使用にあたっては、工事が必要となる場合があります。（下記のオプションは平成19年7月現在の商品です）

● ACアダプタ

ACアダプタは、必ずIX-12IPKTD-E専用のもの(型番：IX-IPKTAC-E)をお使いください。

● IX-12ELK-R

外線ボタン／ランプを12個増設できます。

● 高音量ベル(ZT-EBL)

着信音を大音量で鳴らすための外付け装置です。

● 外部アンプ(ZT-EAMP)

内線音声呼出しなどスピーカから出る音を大きくするための外付けスピーカアンプです。

● ヘッドセット

● 防騒音ハンドセット(IX-SNHD)

工場などの騒音の大きい場所でも明瞭な通話ができるハンドセットです。

14 ディ스플레이部に次のメッセージが表示されたら

表 示	原 因	確認してください
IPKT BOOT xxxxxxxx	準備中です。	しばらくお待ちください。
システムビジー	回線が込み合っているなどの原因で電話線が使えない状態です。	しばらくしてから、お掛け直してください。
音声を通りません	ネットワーク環境の変更などにより音声が接続できない状態です。	お客様のネットワーク管理担当の方へご連絡ください。
システム接続中	主装置と通信中です。	この表示が消えない場合は、ネットワークに障害が発生しています。ネットワーク管理担当の方へご連絡ください。
SO 未登録	主装置との通信ができない状態です。	お買い求めになった販売店、または工事店へご連絡ください。
収容位置誤り		
認証誤り		
TCP 確立失敗	ネットワークの異常です。	お客様のネットワーク管理担当の方へご連絡ください。
ガードタイム異常		
メンテナンス中	主装置のメンテナンス中です。	メンテナンスが完了するまでお待ちください。
回路閉塞中		
基板閉塞中		
規制中		
Consult Network Administrator	DHCP サーバとの通信に失敗しました。	電話機の電源の切り／入れをしてください。 それでも直らない場合は、お客様のネットワーク管理担当の方へご連絡ください。

15 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

基本動作

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
電源が入らない	ACアダプタが外れている	ACアダプタを差し込んで下さい	16
	PoE (LAN 給電) のとき、LANケーブルが外れている	LANケーブルの配線、または給電ハブの電源を確認してください	17
LCDになにも表示されない	停電のため	故障ではありません	-
電話をかけられない	回線がいっぱいになっている	少し待ってからかけ直してみてください	-
相手の声が小さい	受話音量を小さく設定している	受話音量を上げてみてください	52
会話中の相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	受話音量を大きく設定しすぎている	受話音量を下げてみてください	52
着信音が鳴らない	不在転送が設定されている	不在転送を解除してください	22
	着信拒否が設定されている	着信拒否を解除してください	-
着信音が小さい	着信音量を小さく設定している	着信音量を上げてみてください	54
着信音が大きすぎる	着信音量を大きく設定しすぎている	着信音量を下げてみてください	54
相手に声が通らない	ミュートがオンになっている	ミュートをオフにしてください	11
動作しない	ネットワークケーブルが外れている	正しくハブに接続してください	17
	IPアドレスが他のネットワーク機器と重なっている	お客様のネットワーク管理担当者の方とご相談し、いずれかの機器のIPアドレスを正しく設定してください	50
ネットワークケーブルを差してもLINK/ACTランプが点灯しない	ネットワークケーブルの長さが100m以上である	レピータなどで中継し、直接ハブと接続するケーブルは短くしてください	-
	ハブの電源が切れている	ハブの電源を入れてください	-

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
通話が途切れたり ノイズが入る	通常のハブを使用しているため、ネットワークに負担がかかっている	スイッチングハブに交換してください	—
	パケット損失が大きく音声情報が欠落している	お客様のネットワーク管理担当者の方とご相談してください ネットワークポロジーの見直しやルーターなどの機器を音声優先制御に対応した高性能な製品に交換する、WAN回線の伝送速度を見直す、などの対策が必要になります	—
	PC側にハブを接続し複数台のパソコンを接続している	PC側にはパソコン1台のみの接続としてください	17

16 こんな音がしたら

受話口から出る音

種 別	音	こんな状態のときに聞こえます
内線ダイヤルトーン	プープープー·····	ダイヤルができるとき
ビジートーン (話中音)	プー..プー..プー·····	ダイヤルした相手が通話中のとき
相手呼出中音	ブルブルブル..ブルブルブル·	相手を呼び出しているとき

スピーカ口から出る音

種 別	音	こんな状態のときに鳴ります
確認音	ピピ	登録操作がうまくできたとき
警告音	ピピピピピ	登録操作がうまくできなかったとき
内線着信音	トゥルトルトルトル·····	内線電話機からの呼び出しのとき
外線着信音	トゥルルルルル·····	外線からの呼び出しのとき
キータッチトーン	ピッ	ボタンを押したとき

17 主な仕様

項目	仕様
イーサネット	10BASE-T/100BASE-TX オートネゴシエーション、MDI-X コネクタ2個(LAN用、PC用)
音声コーデック	G.711、G.729a
電磁妨害波規格	VCCIクラスA
使用電源	●ACアダプタ(IX-IPKTAC-E)専用オプション 入力AC100V、50/60Hz 出力DC18V、1.2A ●LAN給電(IEEE802.3af準拠)
外形寸法	189(W)×256(D)×210(H)mm(卓上使用时) 112(H)mm(かべかけ時)
質量	約1.3kg(電話機本体) 約0.18kg(専用ACアダプタ IX-IPKTAC-E)
消費電力	約5W(最大)、約2W(待機時)
環境条件	周囲温度：0～40℃ 相対湿度：90%RH以下(ただし結露しないこと)

○仕様および外観は、性能改善等の理由により、予告なく変更することがあります。

18 アフターサービスについて

●アフターサービスはお買い求めの販売店、もしくは工事店が行います。

万一の故障の修理、移動、増設、移設はすべてお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

●修理はお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

修理はお買い求めの販売店、もしくは工事店にまずご相談ください。

販売店へのご相談ができない場合には、岩崎通信機お客様相談センターへご相談ください。

<お客様相談センター：0120-186102>

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料：故障した製品を正常に修復するための作業にかかる費用です。

部品代：修理に使用した部品代金です。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。

ただし、商品の機能が維持できるかお電話で判断できない場合にはご希望により出張し、判断させていただきます。その結果、修理しても商品の機能が維持できないとした場合でも有料となる場合がありますのでご了承ください。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後、7年を目安に保有しています。この期間中は原則として修理をお受け致します。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能場合がありますので、お買い求めの販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。

●電子情報の消去について

お客様または第三者等が本商品のお取り扱いを誤ったとき、本商品のメモリなどが静電気ノイズの影響を受けたとき、また故障修理などのときに、まれに記憶内容が変化および消失することがあります。重要な内容は必ず控えを取っておいてください。記憶内容が変化および消失したことによる損害については、弊社に重大な過失、故意がない限り、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

このマニュアルは、再生紙を使用しています。

使い方などでご不明の点がございましたら、岩崎通信機お客様相談センタへお気軽にご相談ください。

<お客様相談センタ：☎0120-186102>

創造と豊かな対話のために

IWATSU 岩崎通信機株式会社

〒168-8501 東京都杉並区久我山1-7-41

IX-IPKTD-E(JP) OPERATION GUIDE

TML176611 2007.7